

FNIRSI

DMT-99

カラー画面デジタルマルチメーター 日本語取扱説明書（参考訳）



ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

翻訳・編集：泰宕商事株式会社

参考訳 v1 / 2026-10-12

参照原本：DMT-99 Intelligent color screen multimeter manual。英文章節、原本印刷11-20ページ。原本に版番号の明記なし。

本書について

本書はメーカー原本をもとに、操作・仕様・安全上の注意を日本語で翻訳・整理した参考訳です。メーカー公式の日本語版ではありません。画面の文言、仕様、付属品が異なる場合は、実機の型番・ハードウェア版と対応するメーカー原本を確認してください。

原本の機能・接続・測定・設定・仕様・注意事項を再構成しています。NCV/LIVEは検出の補助機能であり、無電圧の証明として使用しないでください。この安全補足は泰宕商事による編集上の注意です。

構成

1. 安全上の注意
2. 製品概要と操作キー
3. 通常モード：電圧・抵抗・導通・ダイオード
4. 通常モード：容量・周波数・温度・電流
5. NCVとLIVE
6. 記録・監視・メニュー設定
7. 仕様と測定条件

1. 安全上の注意

- ・可燃性・爆発性のある環境では使用しないでください。
- ・使用前に筐体、端子付近、テストリードの絶縁に損傷がないか確認してください。
- ・テストリードは指を保護ガードの後ろに置いて持ち、測定中に入力端子や露出した金属部に触れないでください。
- ・測定モードを変更する前に、テストリードを測定回路から外してください。
- ・DC 36Vを超える電圧、AC 25Vを超える電圧では感電防止に十分注意してください。これら未満でも条件によって危険があるため、濡れた手や損傷した機器で測定しないでください。
- ・正しいモードと入力端子を選んでください。測定範囲を超えると画面にOLが表示されます。
- ・電池残量低下の表示が出たら充電してください。充電中は測定しないでください。
- ・廃電池と廃機器を家庭ごみと一緒に処分せず、地域の規則に従ってください。

電流入力の保護

低電流入力は1Aを超えると、高電流入力は10Aを超えるとヒューズが切れるおそれがあります。測定前に電流を見積もり、端子とモードを確認してください。

編集上の安全補足：抵抗・導通・ダイオード・容量測定は回路の電源を切り、コンデンサーを放電してから行ってください。電流測定は回路に直列に接続し、電流端子に挿したリードを電源へ並列接続しないでください。

2. 製品概要と操作キー

DMT-99は10000カウント表示、2.4インチTFT（240×320）のマルチメーターです。AC/DC電圧・電流、抵抗、導通、容量、周波数、ダイオード、温度、NCV、LIVEに対応し、通常・記録・監視の各モードを備えます。

本体表示	操作
V／Ω／容量／ダイオード・ブザー	電圧、抵抗、ダイオード／導通、容量を選択。メニューでは右方向。
HOLD／REL	短押し：表示保持／解除。約2秒長押し：相対値測定／解除。メニューでは上方向。
AUTO／MENU	短押し：自動モード。約2秒長押し：メニューに入る／終了。メニューでは決定。
Hz／温度／NCV／LIVE	周波数、温度、NCV、LIVEを選択。メニューでは下方向。
mA／A	低電流／高電流を選択。メニューでは左方向。
電源	約2秒長押しで電源オン。オンの状態で長押しするとオフ。

端子の使い分け

測定	赤リード	黒リード
電圧・抵抗・容量・周波数・ダイオード・温度	V／Ω等の共用端子	COM
低電流	mA	COM
高電流	10A	COM
LIVE	V／Ω等の共用端子	黒リードを取り外す

3. 通常モード：電圧・抵抗・導通・ダイオード

自動測定

通常モードで起動すると自動測定が選択されます。他のモードからはAUTO/MENUを短押しします。赤リードをV/ Ω 等の共用端子、黒リードをCOMへ挿し、測定対象に接続します。自動で識別するのは電圧、抵抗、導通のみです。電圧ではAC/DCを自動識別します。抵抗が50 Ω 未満の場合はブザーが鳴ります。

電圧・抵抗

V/ Ω 等のキーで電圧または抵抗を選択し、赤リードを共用端子、黒リードをCOMへ接続します。抵抗測定ではレンジを自動で識別します。抵抗を測る回路は必ず無通電にしてください。

ダイオード・導通

ダイオード／導通モードを選択し、同じ端子配置で接続します。導通測定では50 Ω 未満でブザーが鳴ります。ダイオード測定では順方向電圧を表示します。極性が逆の場合やダイオードが損傷している場合、原本ではOLを表示すると説明しています。OLだけで損傷と断定せず、極性と接続も確認してください。

4. 通常モード：容量・周波数・温度・電流

容量・周波数・温度

測定する機能を選び、赤リードまたは温度プローブの正極をV／ Ω 等の共用端子へ、黒リードまたは負極をCOMへ接続します。容量と周波数はレンジを自動識別します。容量は回路を無通電とし、対象を放電してから測定してください。温度は適合する温度プローブを使用し、プローブ自体の使用上限を超えないでください。

低電流

mA／Aキーで低電流を選択します。赤リードはmA端子、黒リードはCOMです。測定値の上限は999.9mAです。1Aを超えるとヒューズが切れるおそれがあります。接続先の電源を切った状態で回路を開き、直列に接続してから通電してください。

高電流

高電流を選択します。赤リードは10A端子、黒リードはCOMです。測定値の上限は9.999Aです。10Aを超えるとヒューズが切れるおそれがあります。測定後は通電を止めてから接続を外し、電圧測定に移る前に赤リードを共用端子へ戻してください。

5. NCVとLIVE

NCV：非接触検出

NCVを選択し、本体上部のNCV検出部を測定箇所へゆっくり近づけます。交流の電界を検出するとブザーが鳴り、検出の強さに応じて音の間隔と画面が変化します。原本図は未検出／弱／中／強の表示例です。周囲の配線や遮蔽などの条件で反応が変わるため、未検出を無電圧とみなさないでください。

LIVE：活線検出

Hz／温度／NCV／LIVEキーでLIVEを選択します。赤リードをV／ Ω 等の共用端子に挿し、黒リードは取り外します。赤リードを対象へ接触させ、ブザーと画面表示で活線の検出を確認します。原本図は中性線／接地線側の表示例と活線の表示例を示しています。

判定の限界

原本の英語説明にはLIVEのブザー条件に曖昧な表現があります。本書は画面表示例と接続図に基づいて整理しています。中性線・接地線の適合性や無電圧をこの機能だけで証明しないでください。適切な検電手順と機器で確認してください。

6. 記録・監視・メニュー設定

メニュー

AUTO/MENUを約2秒長押しします。各方向キーと決定キーで項目を選びます。モード選択では通常・記録・監視を切り替えます。監視のしきい値設定では電圧・電流・温度の最小値と最大値を設定します。履歴には最大30件を保存し、新しい記録から並びます。30件を超えると最も古い記録を上書きします。システム設定は言語、画面輝度、温度単位、自動電源オフ時間です。工場出荷設定に戻すと履歴が消去され、各設定が初期値に戻ります。機器情報では製造元、型番、版番号を確認できます。

記録モード

電圧、抵抗、ダイオード／導通、容量、高電流、低電流、周波数、温度を測定できます。接続方法は通常モードと同じです。測定のリアルタイム曲線、最小・最大値とデータ保存機能が加わります。測定中に中央キーを短押しすると、その時点の値を履歴へ保存します。画面右の記録枠は最大8組を表示し、8組を超えると先頭を上書きします。下部の黄色線に対応する値が最新の記録です。画面の8組表示と履歴の30件保存は別です。

監視モード

電圧、電流、温度に対応し、接続方法は通常モードと同じです。設定した最小・最大のしきい値と比較し、最小値未満、範囲内、最大値超過で表示が変化します。原本は範囲内でブザーが鳴ると説明しています。「範囲外アラーム」と読み替えず、実機の動作を確認して使用してください。

7. 仕様と測定条件

以下はメーカー原本の仕様表です。精度の「+数字」は原本表記を保持しています。測定可能なレンジと、実際の接続端子・リード・測定環境の安全定格は別です。CAT定格をこの表だけから推定しないでください。

機能	レンジ	精度（原本）
DC電圧	9.999／99.99／999.9V	±(0.5%+3)
AC電圧	9.999／99.99／750.0V	±(1%+3)
DC電流	9999 μA／99.99mA／999.9mA／9.999A	±(1.2%+3)
AC電流	同上	±(1.5%+3)
抵抗	999.9 Ω／9.999k Ω／99.99k Ω／999.9k Ω／9.999M Ω	±(0.5%+3)
抵抗	99.99M Ω	±(1.5%+3)
容量	9.999nF／99.99nF／999.9nF／9.999 μF／99.99 μF／999.9 μF	±(2.0%+5)
容量	9.999mF／99.99mF	±(5.0%+20)
周波数	9.999Hz／99.99Hz／999.99Hz／9.999kHz／99.99kHz／999.9kHz／9.999MHz	±(0.1%+2)
温度	-55～1300℃／-67～2372°F	±(2.5%+5)

項目	条件
動作環境	0～40℃、湿度75%未満
保管環境	-20～60℃、湿度80%未満
重量	185g（原本値）
電池容量	1500mAh（原本値）
その他	ダイオード、導通、NCV、LIVEに対応

参照資料とお問い合わせ

参照原本：DMT-99 Intelligent color screen multimeter manual。英文章節、原本印刷11-20ページ。原本に版番号の明記なし。

原本の製造元：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.

メーカー資料：<https://taigo-shoji.co.jp/manuals/fnirsi/dmt-99-manual-55e245a7b8c7.pdf>

製品・相談窓口：taigo-shoji.co.jp

お問い合わせ：support@taigo-shoji.co.jp

保証・初期不良対応は購入先の案内をご確認ください。原本にあるメーカー独自の保証延長、販売条件、広告表現は、泰宕商事の保証条件として転記していません。

原本との対応

原本の章・ページ	本書での扱い
11ページ：読者への注意・概要	安全と製品概要に翻訳。広告的比較表現は省略。
12ページ：キー機能	各本体表示を文字で表記して対照表に再構成。
13-17ページ：メニュー・通常・記録	接続図の端子記号を文章と表で明記。
18ページ：監視・仕様	範囲内ブザーの説明を保持。誤解しやすい点を補足。
19ページ：仕様	全レンジ・精度・環境・重量・電池容量を記載。
20ページ：注意・連絡先	安全上の注意に反映。保証延長広告は当社保証として転記せず。